



創立 140 周年

とべだより

令和 2 年 2 月 2 8 日

3 月号

横浜市立戸部小学校



「卒業」への思い

学校長 柳澤 潤

新型コロナウイルスの感染予防対策・拡大防止のため、令和元年度の「卒業証書授与式」は、例年と形式も内容も大きく変更となります。あわせて、授業参観等も中止せざるを得ない厳しい状況になりました。予断を許さない中、それぞれ一人ひとりが、また、それぞれの組織が、今できる最善の対応を判断し、厳しい状況をしのいでいかなければなりません。

学校としての対応は、その都度、文書やメールにてお知らせをさせていただきます。ご心配、ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解のほど、よろしく申し上げます。

「卒業」への思いは、6年生にとってはもちろんのこと、在校生、保護者・地域の皆様をはじめ、私たち職員にとっても特別なものです。

6年生の子どもたちは、教室にある、日めくりのカウントダウンカードを見て、「卒業まであと〇日」と、学級のみennaと確かめ合いながら、一日一日を大事に過ごしています。ありがたい会の準備が進み、式の練習も始まりました。卒業証書を入れるホルダーは、子どもたち一人ひとりが手作りをします。地域でお世話になっている、横浜マイスター木村康夫様の指導を受けて、立派な和紙装丁のホルダーが完成しました。これも、戸部小学校の伝統になっています。

在校生は、とべフレチーム（学年混合縦割り班）をリードしてくれた6年生に感謝の気持ちを伝えるために、お祝いの寄せ書きや壁飾りの準備をしています。在校生にとって戸部小の6年生は、まさにあこがれの存在です。今年度は、戸部小創立140周年記念の年。全校遠足、とべスポ、とべコン、とべファンと、戸部小4大行事を6年生のお兄さん、お姉さんが、いつも優しくリードしてくれました。

卒業証書授与式は、今年度のゴール、周年行事の総仕上げの意味があります。4・5年生が在校生を代表して参加する予定でした。地域の方の中には、「楽しみにしてるよ」と、出席表を手を持って、学校まで届けてくださる方もいました。

みんなが参加しての卒業証書授与式が、今年度はできません。辛い判断です。それでも、在校生とともに、6年生にとって忘れられない最高の「卒業」となるように、励まし、応援を重ねていきます。「人生に、意味のない出来事などない。きっと大きな意味のあることなのだ」と、とらえて、未来に向かって羽ばたいていく卒業生にエールを贈り続けます。

令和元年度も、保護者・地域の皆様、関係者の皆様に、力強いご支援、ご協力をいただきました。心より感謝を申し上げます。引き続き、応援をどうぞよろしくお願い申し上げます。